



子育て・家族支援部門[団体]

とくていひえいりかつどうほうじん はーとふれんど

特定非営利活動法人 ハートフレンド

代表者名: 徳谷 章子 とくたに あきこ 団体構成人数: 46名

[大阪市推薦]

■ 活動のご紹介

地域の既存組織や青少年団体、学校、行政と連携しながら、乳幼児親子のつどいの広場事業、乳幼児の一時預かり、児童の夜間あずかりなどの子育て支援活動を行う。また、子どもの不登校予防、基礎学力向上、障がいのある子どもの支援のための「こどものてらこや事業」や「あそびのてらこや事業」、次世代育成のための「ジュニア・リーダー事業」などを行い人と人がつながる共生福祉の町づくりを推進している。



乳幼児おやこのつどいの広場



こどものてらこや



子育て・家族支援部門[団体]

せいりかかんごだいがくかんごじっせんかいはつげんきゅうせんたー

聖路加看護大学看護実践開発研究センター

代表者名: 山田 雅子 やまだ まさこ 団体構成人数: 62名

[文部科学省推薦]

■ 活動のご紹介

看護大学の専門性を活かし、都市部に暮らす市民と地域全体に向けた看護実践活動を提供するという社会貢献を持続して行っている。母子のニーズを丁寧に掘り起こし、比較的多くの家族が求めているケア(母乳育児相談、多世代交流支援)および個別なニーズのある家族へのケア(新生児を迎える兄弟姉妹のクラス、死産・流産・新生児死亡の経験のある家族への支援、核家族の小中学生への高齢者理解や祖父母世代から子供世代への智恵と地域文化の伝承)と多様な事業を展開している。市民とのパートナーシップで企画・運営され、都市部で生活する母子の健康を守る新たな形を提示した功績は大きい。



「赤ちゃんがやってくる」クラス風景



多世代交流型ディプログラム「聖路加和みの会」での「後ろ向き風船送り世代間交流ゲーム」風景

内閣府特命担当大臣表彰



子育て・家族支援部門[団体]

むぎばたけ
ムギ畑

代表者名: かつま かずよ 勝間 和代 団体構成人数: 約4,000名

[厚生労働省推薦]

■ 活動のご紹介

子育てしながら働く女性やその予備軍が仕事と子育ての両立に関する悩み等について相談や情報交換を行う無料会員制サイトをインターネット上で運営。多くのワーキングマザー会員が参加し、会員同士が励まし合い、成長しあえる場所を作ることで、女性の仕事と家庭の両立の推進に貢献している。

ホームページアドレス
<http://www.mugi.com/>



インターネットを通じて
会員同士の交流と外部
への情報発信を実施



会員同士が持ち寄った
ノウハウを社会に伝える
取り組みも全国各地
で展開中



子育て・家族支援部門[個人]

いしがき まさひろ
石垣 政裕 (58歳)

[宮城県推薦]

■ 活動のご紹介

自ら、おやじの会を設立し、子どもたちと父親達で様々な活動を行うとともに、おやじの会の普及・啓発・ネットワーク化を行うことを通して、父親の家庭教育と地域活動への参加を促進している。また父親の家庭教育や地域活動について考えるフォーラムを継続して開催し、おやじの会をつくりたい人への情報提供を行っている。その活動を通じて父親が子育てを分担するとともに、社会全体で子どもを育てる意識の普及・啓発に寄与している。



日韓おやじフォーラム
の様子



おやじの会対抗ソフト
ボールの表彰式



子育て・家族支援部門[個人]

みやぎしま ゆうこ

宮城島 由子 (82歳)

[静岡県推薦]

■ 活動のご紹介

宮城島氏が以前経営していた幼稚園の廃園後、長年にわたり子育て親子に無償で365日開放することにより、子育て親子への居場所の提供や交流の手助けを行っている。またそこで母親の相談にのり、アドバイスし、母親たち自身の力を最大限に活かした母親たち主体の運営をおこなうことにより、子育て支援だけでなく、子どもの生みやすく、子育てのしやすい地域社会の形成に貢献している。



母親たちの相談に乗る様子



子どもたちと一緒に



子育て・家族支援部門[個人]

こばやし くにお

小林 邦夫 (72歳)

[愛知県推薦]

■ 活動のご紹介

地元の子どもを中心とした地域全体の絆を深める為、自宅を改築し、私費を投じて蔵書を購入し私設図書館「めだか文庫」を開設。子どもや子育てを担う家族を応援する為に開設後は子どもの一時的預かりや、本の読み聞かせ、子どもと親を対象にした紙芝居の実演、カレンダー・うちわ作り等の講習会など多種多様な行事を開催し、地域の子どもや子育てを担う親の支援活動を行い、親子と地域のきずなを深める拠点としても貢献している。



小学生へ「めだか文庫」を説明する様子



紙芝居を作っている様子

